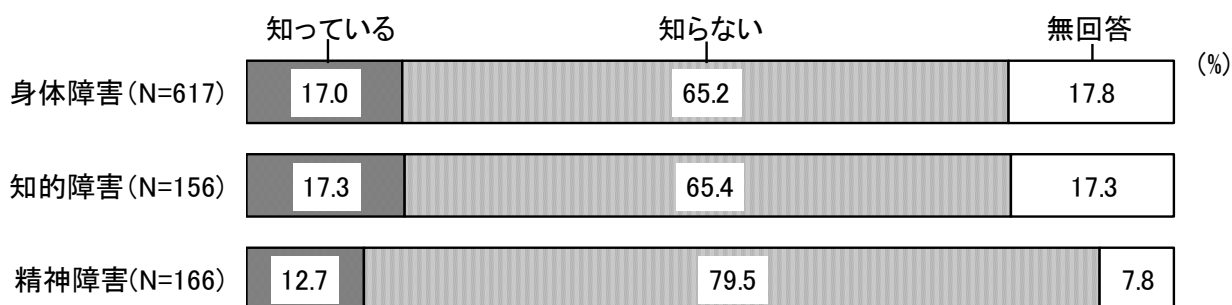
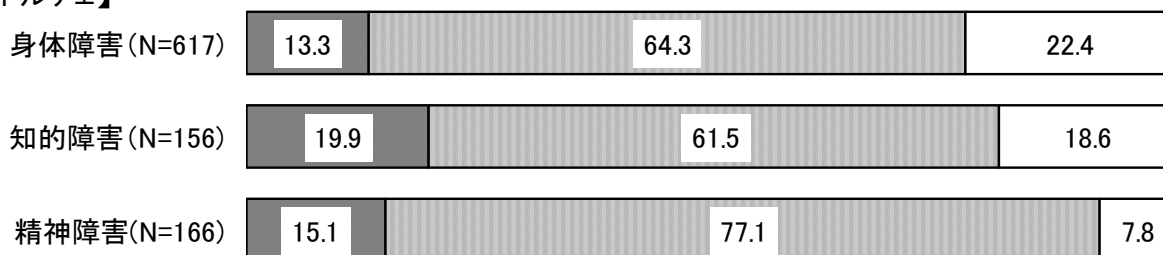


図表 3-78 市の相談窓口の認知状況（全体）

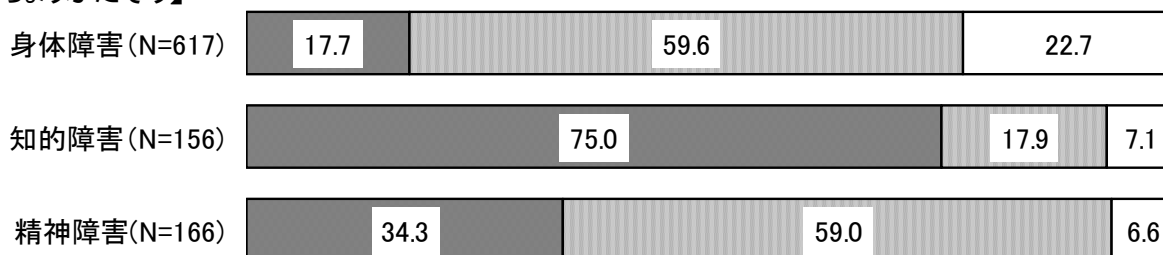
【障害者地域自立支援協議会】



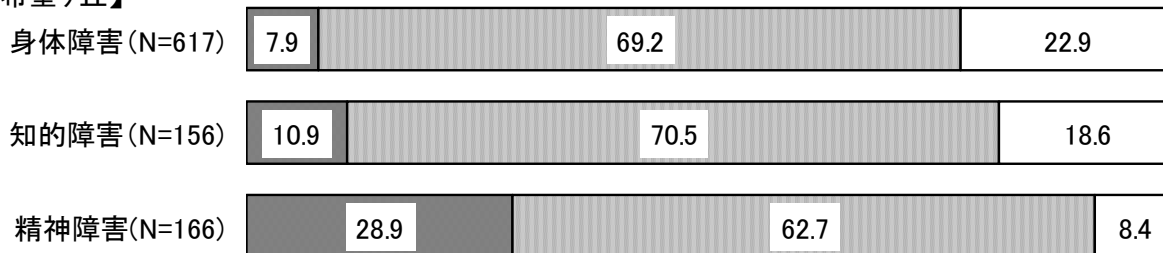
【ドルチェ】



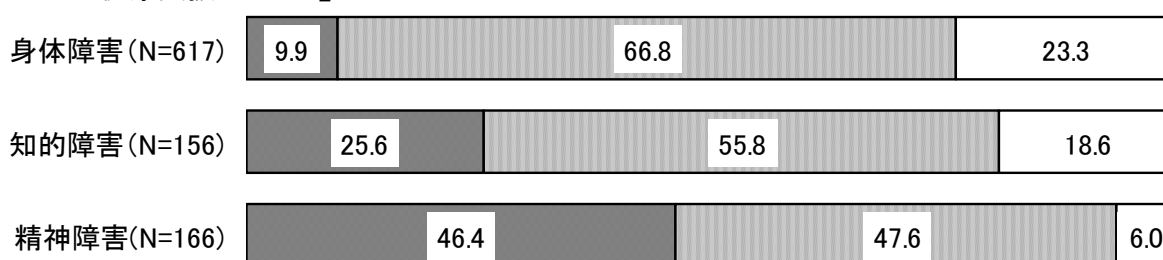
【ちょうふだぞう】



【希望ヶ丘】



【こころの健康支援センター】



(6) 今後充実を望むサービス（問 26）

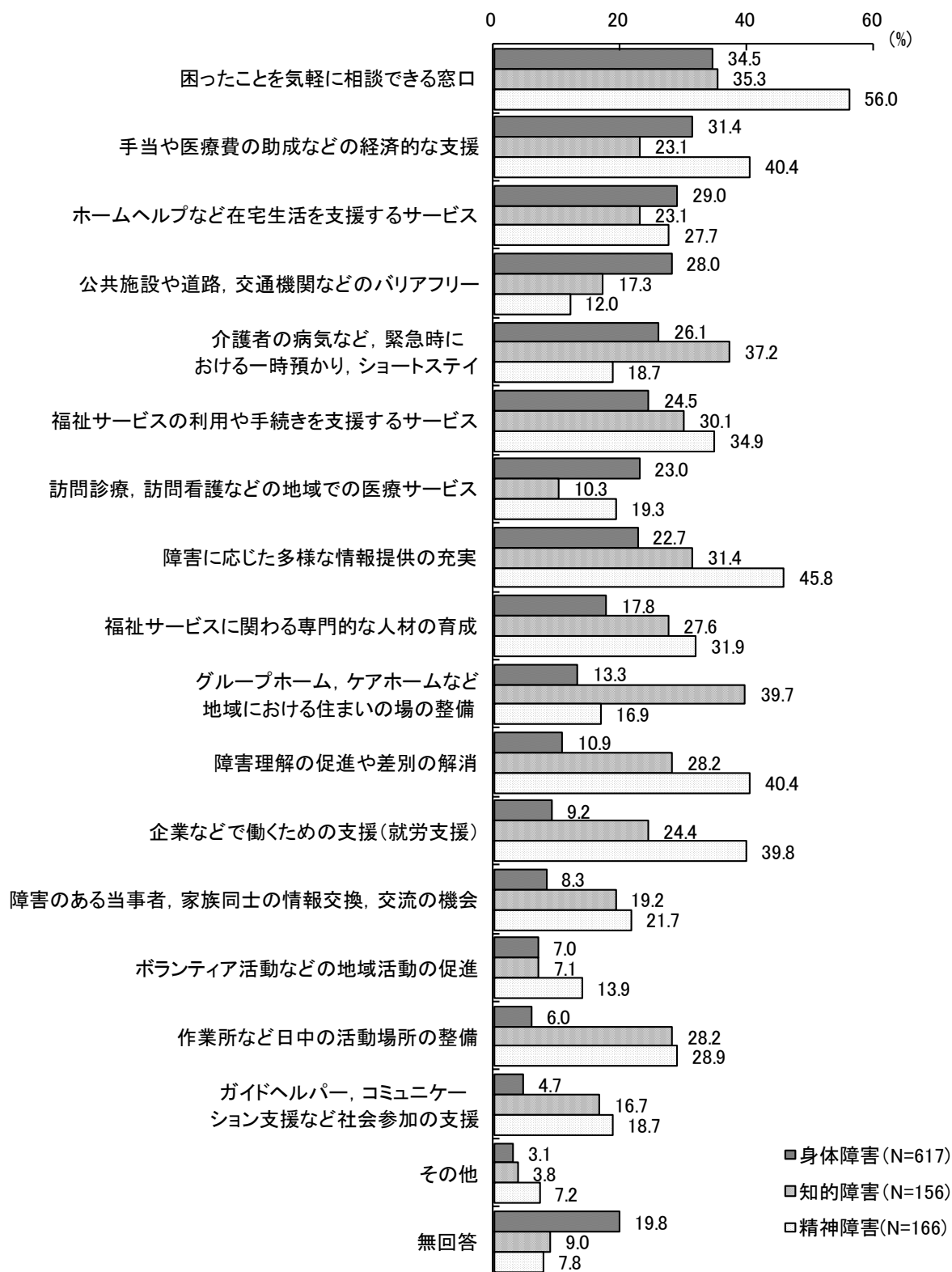
問 26 次にあげる障害者福祉に関する取組のうち、あなたが今後調布市で特に充実させてほしいものはどれですか。（いくつでも○）

身体障害では、「困ったことを気軽に相談できる窓口（34.5%）」、「手当や医療費の助成などの経済的な支援（31.4%）」が続いている。

知的障害では「グループホーム、ケアホームなど地域における住まいの場の整備（39.7%）」が最も多く、「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（37.2%）」、「困ったことを気軽に相談できる窓口（35.3%）」が続いている。

精神障害では「困ったことを気軽に相談できる窓口（56.0%）」が最も多く、「障害に応じた多様な情報提供の充実（45.8%）」、「手当や医療費の助成などの経済的な支援（40.4%）」、「障害理解の促進や差別の解消（40.4%）」が続いている。

図表 3-79 今後充実を望むサービス（全体：複数回答）



II アンケート調査の結果

身体障害

年代別にみると、65歳未満で「企業で働くための支援（就労支援）」が24.5%で65歳以上の3.9%に比べ20.6ポイント上回っている。

図表 3-80 今後充実を望むサービス【身体障害】
 (全体、年齢別、年代別、家族構成別、障害の程度別：複数回答)

		相談できる窓口	手当や医療費の助成	ホームヘルプなど	公共交通機関などの道路、バス	緊急時におけるサービス	介護者の病気のケア	福祉サービスの利用	訪問診療、訪問看護	情報提供の充実	障害に合わせた多様な	福祉サービスの充実
全体 (N=617)		34.5	31.4	29.0	28.0	26.1	24.5	23.0	22.7	17.8		
年齢別	10歳代 (n=2)	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0		
	20歳代 (n=6)	50.0	33.3	33.3	66.7	50.0	50.0	50.0	66.7	16.7		
	30歳代 (n=14)	64.3	57.1	21.4	35.7	28.6	35.7	28.6	42.9	35.7		
	40歳代 (n=27)	29.6	40.7	29.6	40.7	25.9	22.2	14.8	37.0	11.1		
	50歳代 (n=44)	31.8	36.4	31.8	38.6	31.8	22.7	13.6	38.6	36.4		
	60歳代 (n=130)	40.0	37.7	27.7	27.7	26.9	23.8	20.0	26.9	20.0		
	70歳代 (n=184)	35.3	27.7	25.0	26.1	26.6	27.2	25.5	17.9	15.2		
	80歳代以上 (n=175)	28.6	26.9	35.4	24.0	26.3	21.1	25.1	16.0	13.7		
年代別	65歳未満 (n=151)	37.7	40.4	26.5	34.4	27.2	27.2	17.2	36.4	23.8		
	65歳以上 (n=431)	33.6	28.8	30.6	26.2	27.1	23.9	25.1	18.3	15.8		
障害の程度別	1級 (n=202)	33.7	29.7	28.7	28.7	26.7	24.8	19.3	22.3	17.8		
	2級 (n=71)	35.2	36.6	36.6	31.0	36.6	32.4	29.6	26.8	22.5		
	3級 (n=92)	32.6	32.6	25.0	31.5	27.2	22.8	22.8	21.7	18.5		
	4級 (n=157)	35.0	29.3	29.9	26.8	22.3	22.3	24.2	22.9	16.6		
	5級 (n=24)	33.3	45.8	25.0	37.5	25.0	25.0	33.3	29.2	20.8		
	6級 (n=29)	37.9	34.5	27.6	10.3	20.7	24.1	20.7	17.2	20.7		

		整備している地域、場に	別障害の解消の促進や差	の企業などで働くための	換家族交流の機会	障害のある当事者	どボランティア活動の促進	動作場所の整備	支援など社会参加の支	ミュードヘルシーな	その他	無回答
全体 (N=617)		13.3	10.9	9.2	8.3	7.0	6.0	4.7	3.1	19.8		
年齢別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
	20歳代 (n=6)	33.3	50.0	66.7	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0		
	30歳代 (n=14)	28.6	42.9	28.6	42.9	7.1	28.6	14.3	7.1	0.0		
	40歳代 (n=27)	14.8	22.2	29.6	11.1	7.4	7.4	7.4	11.1	3.7		
	50歳代 (n=44)	13.6	36.4	31.8	15.9	9.1	11.4	11.4	2.3	4.5		
	60歳代 (n=130)	14.6	11.5	10.0	8.5	8.5	8.5	5.4	2.3	15.4		
	70歳代 (n=184)	11.4	5.4	3.3	5.4	8.7	4.3	3.3	2.7	21.2		
	80歳代以上 (n=175)	12.6	2.9	1.7	5.1	3.4	1.7	1.7	1.1	28.6		
年代別	65歳未満 (n=151)	16.6	25.2	24.5	15.9	8.6	11.9	9.3	5.3	8.6		
	65歳以上 (n=431)	12.3	5.3	3.9	5.6	6.5	3.9	3.2	1.9	23.0		
障害の程度別	1級 (n=202)	13.4	14.4	8.9	11.9	8.9	4.5	7.9	3.0	19.8		
	2級 (n=71)	23.9	19.7	11.3	12.7	7.0	9.9	8.5	1.4	14.1		
	3級 (n=92)	10.9	8.7	12.0	7.6	5.4	5.4	1.1	5.4	20.7		
	4級 (n=157)	11.5	5.7	5.7	3.2	4.5	7.0	1.3	2.5	17.8		
	5級 (n=24)	16.7	12.5	20.8	12.5	16.7	4.2	8.3	4.2	25.0		
	6級 (n=29)	6.9	3.4	17.2	0	10.3	0.0	0.0	0.0	24.1		

知的障害

今後充実を望むサービスについては、全体では「グループホーム、ケアホームなど地域における住まいの場の整備（39.7%）」、「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（37.2%）」、「障害に応じた多様な情報提供の充実（31.4%）」が30%台で上位にあげられている。

障害程度で差がみられ、1度と2度で他を上回る項目が多く見られる。

図表 3-81 今後充実を望むサービス【知的障害】

（全体、年齢別、年代別、家族構成別、障害の程度別：複数回答）

		整備する住まいの場の地域に	グループホームなど一時預かり、ショートステイ	介護者の病気など緊急時	相談できる窓口を気軽に	障害に応じた多様な情報提供の充実	福祉サービスの利用	作業所など日中の活動	障害理解の促進や差別の解消	福祉サービスの人材の育成	企業などで働くための支援
全	体 (N=156)	39.7	37.2	35.3	31.4	30.1	28.2	28.2	27.6	24.4	
年	10歳代 (n=5)	40.0	60.0	20.0	40.0	60.0	40.0	80.0	80.0	20.0	
	20歳代 (n=49)	49.0	40.8	36.7	46.9	36.7	26.5	34.7	28.6	40.8	
	30歳代 (n=43)	37.2	30.2	34.9	25.6	20.9	27.9	25.6	27.9	25.6	
	40歳代 (n=33)	42.4	48.5	39.4	27.3	30.3	24.2	24.2	27.3	9.1	
	50歳代 (n=9)	22.2	11.1	33.3	11.1	22.2	44.4	33.3	11.1	11.1	
	60歳代 (n=9)	11.1	33.3	22.2	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	
	70歳代 (n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年	65歳未満 (n=144)	40.3	37.5	36.1	33.3	30.6	27.8	30.6	28.5	25.7	
	65歳以上 (n=7)	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	
障	1度 (n=5)	40.0	100.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	
	2度 (n=35)	54.3	62.9	22.9	34.3	42.9	31.4	25.7	40.0	5.7	
	3度 (n=44)	43.2	34.1	27.3	27.3	20.5	34.1	22.7	31.8	27.3	
	4度 (n=59)	25.4	22.0	49.2	32.2	32.2	23.7	33.9	20.3	37.3	

		在宅生活への支援	手当や医療費の助成	家族の交流の機会	障害のある当事者の情報交換	公共交通機関などの道路バリアフリー	支援施設や道路バリアフリー	ガイドヘルパーなどの社会参加の支援	訪問診療、訪問看護	ボランティア活動の促進	その他	無回答
全	体 (N=156)	23.1	23.1	19.2	17.3	16.7	10.3	7.1	3.8	9.0		
年	10歳代 (n=5)	40.0	40.0	60.0	80.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0		
	20歳代 (n=49)	22.4	28.6	24.5	14.3	18.4	12.2	4.1	4.1	6.1		
	30歳代 (n=43)	20.9	14.0	14.0	11.6	16.3	7.0	9.3	4.7	9.3		
	40歳代 (n=33)	27.3	12.1	12.1	15.2	18.2	12.1	6.1	3.0	12.1		
	50歳代 (n=9)	0.0	22.2	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1		
	60歳代 (n=9)	11.1	33.3	22.2	33.3	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2		
	70歳代 (n=3)	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
年	65歳未満 (n=144)	22.2	20.1	19.4	15.3	17.4	10.4	6.9	3.5	9.7		
	65歳以上 (n=7)	28.6	57.1	0.0	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0		
障	1度 (n=5)	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0		
	2度 (n=35)	28.6	14.3	5.7	11.4	20.0	17.1	8.6	2.9	11.4		
	3度 (n=44)	18.2	20.5	18.2	13.6	15.9	4.5	4.5	2.3	9.1		
	4度 (n=59)	20.3	30.5	28.8	23.7	16.9	8.5	10.2	5.1	8.5		

II アンケート調査の結果

精神障害

今後充実を望むサービスについては、全体では「困ったことを気軽に相談できる窓口（56.0%）」、「障害に応じた多様な情報提供の充実（45.8%）」、「手当や医療費の助成などの経済的な支援（40.4%）」、「障害理解の促進や差別の解消（40.4%）」が上位にあげられている。

年代別にみると、65歳以上で「ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス（50.0%）」、「介護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ（37.5%）」など多数の項目で「65歳未満」を上回っている。

図表 3-82 今後充実を望むサービス【精神障害】
（全体、年齢別、年代別、家族構成別、障害の程度別：複数回答）

		相談できたことを気軽に	情報提供に多様な	手当や医療費の助成	障害理解の促進や差別の解消	企業などで働くための支援（就労支援）	福祉サービスを利用する	福祉サービスの人材の育成	作業所の整備	ホームヘルプなど在宅生活を支援する
全体	(N=166)	56.0	45.8	40.4	40.4	39.8	34.9	31.9	28.9	27.7
年齢別	10歳代 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=9)	44.4	33.3	55.6	55.6	33.3	33.3	33.3	33.3	11.1
	30歳代 (n=44)	56.8	47.7	45.5	54.5	59.1	36.4	29.5	22.7	15.9
	40歳代 (n=51)	64.7	51.0	41.2	47.1	43.1	37.3	37.3	37.3	35.3
	50歳代 (n=29)	41.4	41.4	27.6	27.6	37.9	37.9	37.9	31.0	24.1
	60歳代 (n=21)	61.9	47.6	38.1	19.0	0.0	28.6	23.8	28.6	38.1
	70歳代 (n=5)	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
	80歳代以上 (n=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0
年代別	65歳未満 (n=145)	56.6	45.5	40.0	43.4	42.8	34.5	32.4	30.3	24.8
	65歳以上 (n=16)	56.3	56.3	37.5	18.8	6.3	43.8	25.0	18.8	50.0
障害程度別の	1級 (n=12)	41.7	50.0	25.0	16.7	33.3	41.7	50.0	16.7	25.0
	2級 (n=82)	64.6	48.8	41.5	43.9	36.6	37.8	31.7	34.1	34.1
	3級 (n=43)	41.9	32.6	46.5	41.9	55.8	25.6	23.3	23.3	18.6

		交換、家族交流の機会	サナドの診療士、訪問看護	イカシ、緊急時預かり	介護者の病気など、緊急時預かり	支援など社会参加の支援	ガイドヘルパー、シャトル、タクシー	整備、おける住まいの地域に	アグ、ホールの活動の促進	ボラン、地域の活動の促進	フ通、公共施設や道路、バリアフリー	その他	無回答
全体	(N=166)	21.7	19.3	18.7	18.7	16.9	16.9	13.9	12.0	7.2	7.8		
年齢別	10歳代 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	20歳代 (n=9)	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1		
	30歳代 (n=44)	25.0	11.4	15.9	25.0	15.9	9.1	13.6	11.4	2.3	11.4		
	40歳代 (n=51)	23.5	25.5	19.6	23.5	21.6	15.7	11.8	9.8	3.9	13.8		
	50歳代 (n=29)	24.1	10.3	17.2	10.3	10.3	20.7	10.3	3.4	13.8			
	60歳代 (n=21)	14.3	42.9	38.1	9.5	14.3	14.3	19.0	4.8	14.3			
	70歳代 (n=5)	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0			
	80歳代以上 (n=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0			
年代別	65歳未満 (n=145)	21.4	16.6	17.2	20.0	15.9	13.1	11.7	7.6	6.9			
	65歳以上 (n=16)	25.0	50.0	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	6.3	12.5			
障害程度別の	1級 (n=12)	25.0	33.3	33.3	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	16.7			
	2級 (n=82)	23.2	18.3	20.7	19.5	13.4	14.6	11.0	4.9	4.9			
	3級 (n=43)	16.3	11.6	11.6	23.3	18.6	14.0	11.6	16.3	7.0			

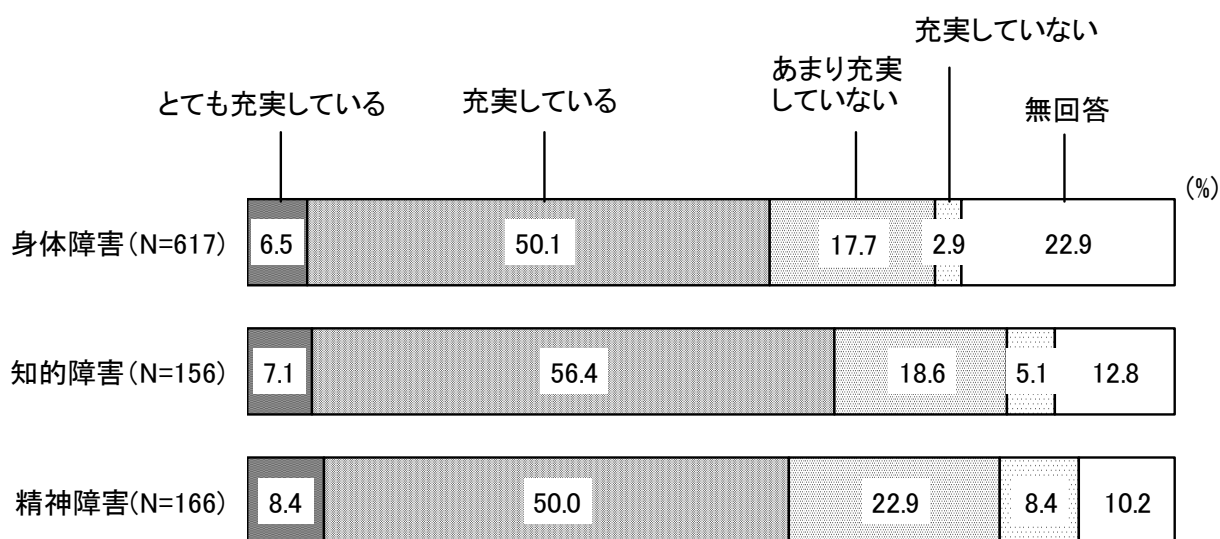
(7) 調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感（問27）

問27 調布市の障害者福祉施策（サービス）全般について、あなたはどのように感じますか。
（1つに○）

身体障害、知的障害、精神障害ともに「充実している」が最も多く、身体障害50.1%、知的障害56.4%、精神障害50.0%となっている。

「とても充実している」と「充実している」を合わせると、「充実している」は、身体障害は56.6%、知的障害は63.5%、精神障害は58.4%となっている。

図表 3-83 調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感（全体）



Ⅱ アンケート調査の結果

身体障害

調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感については、全体では「充実している」が50.1%で最も多く、「あまり充実していない（17.7%）」が続いている。

年代別にみると、30歳代で「あまり充実していない（50.0%）」が最も多くなっている。

図表 3-84 調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感【身体障害】
（全体，年齢別，年代別，障害の程度別）

			とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体		(N=617)	6.5	50.1	17.7	2.9	22.9
年 齢 別	10歳代	(n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(n=6)	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
	30歳代	(n=14)	7.1	42.9	50.0	0.0	0.0
	40歳代	(n=27)	7.4	70.4	18.5	0.0	3.7
	50歳代	(n=44)	4.5	54.5	20.5	2.3	18.2
	60歳代	(n=130)	3.8	53.8	14.6	2.3	25.4
	70歳代	(n=184)	7.1	51.1	16.3	3.8	21.7
	80歳代以上	(n=175)	8.0	46.9	16.0	2.3	26.9
年 代 別	65歳未満	(n=151)	6.0	57.0	20.5	2.0	14.6
	65歳以上	(n=431)	6.7	49.4	16.0	3.0	24.8
障 害 の 程 度 別	1 級	(n=202)	5.9	53.0	18.8	3.0	19.3
	2 級	(n=71)	7.0	50.7	23.9	5.6	12.7
	3 級	(n=92)	7.6	56.5	9.8	0.0	26.1
	4 級	(n=157)	4.5	49.0	17.8	3.2	25.5
	5 級	(n=24)	8.3	45.8	16.7	0.0	29.2
	6 級	(n=29)	10.3	41.4	10.3	3.4	34.5

知的障害

調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感については、全体では「充実している」が56.4%で最も多く、「あまり充実していない（18.6%）」が続いている。

年代別、障害の程度別などについても、「充実している」が最も高い割合を占めている。

図表 3-85 調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感【知的障害】
（全体、年齢別、年代別、障害の程度別）

			とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体		(N=156)	7.1	56.4	18.6	5.1	12.8
年 齢 別	10歳代	(n=5)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(n=49)	8.2	65.3	22.4	0.0	4.1
	30歳代	(n=43)	9.3	51.2	20.9	2.3	16.3
	40歳代	(n=33)	0.0	51.5	18.2	15.2	15.2
	50歳代	(n=9)	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1
	60歳代	(n=9)	11.1	33.3	11.1	11.1	33.3
	70歳代	(n=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	80歳代以上	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満	(n=144)	6.9	55.6	19.4	5.6	12.5
	65歳以上	(n=7)	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3
障 害 別 の 程 度	1度	(n=5)	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	2度	(n=35)	5.7	54.3	17.1	5.7	17.1
	3度	(n=44)	4.5	54.5	25.0	6.8	9.1
	4度	(n=59)	11.9	55.9	15.3	3.4	13.6

Ⅱ アンケート調査の結果

精神障害

調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感については、全体では「充実している」が50.0%で最も多く、「あまり充実していない（22.9%）」が続いている。

障害の程度別でみると、1級の方では「あまり充実していない（41.7%）」が最も高く、「充実している」が8.3%となっている。

図表 3-86 調布市の障害福祉施策（サービス）の充実についての実感【精神障害】

（全体，年齢別，年代別，障害の程度別）

			とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
全 体 (N=166)			8.4	50.0	22.9	8.4	10.2
年 齢 別	10歳代 (n=1)		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=9)		0.0	55.6	33.3	0.0	11.1
	30歳代 (n=44)		15.9	45.5	22.7	11.4	4.5
	40歳代 (n=51)		5.9	52.9	21.6	15.7	3.9
	50歳代 (n=29)		10.3	44.8	24.1	3.4	17.2
	60歳代 (n=21)		4.8	57.1	14.3	0.0	23.8
	70歳代 (n=5)		0.0	40.0	40.0	0.0	20.0
	80歳代以上 (n=1)		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=145)		9.7	51.0	22.1	9.7	7.6
	65歳以上 (n=16)		0.0	37.5	31.3	0.0	31.3
程 度 別	1級 (n=12)		8.3	8.3	41.7	0.0	41.7
	2級 (n=82)		11.0	52.4	22.0	6.1	8.5
	3級 (n=43)		4.7	55.8	16.3	16.3	7.0

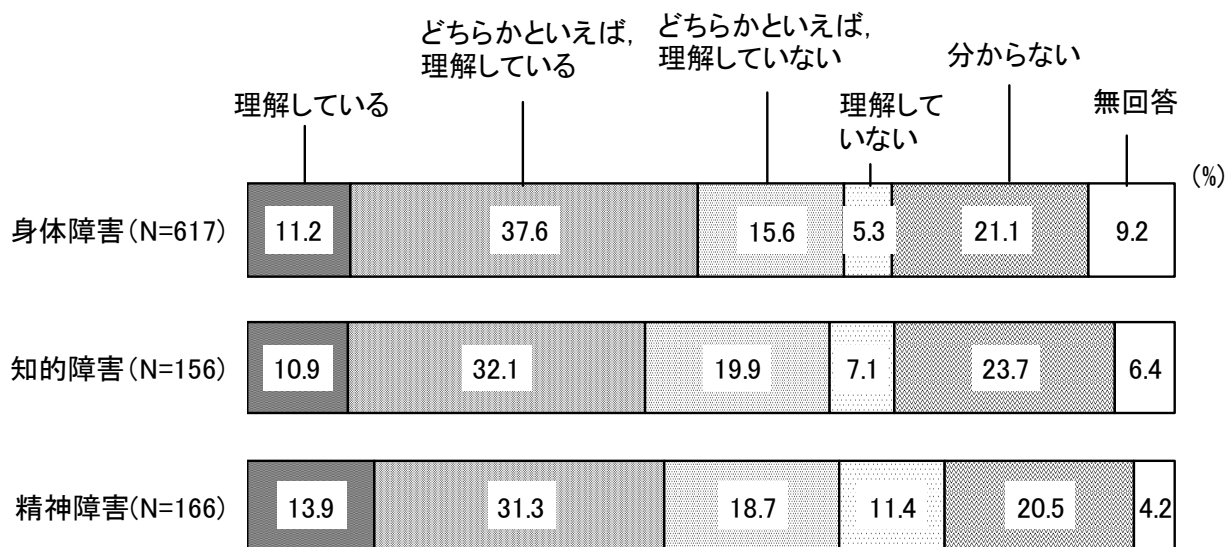
(8) 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解
(問 28)

問 28 調布市では、人々が障害者や高齢者への理解を深め、市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう地域社会の実現を目指しています。このような「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方について、あなたの周囲の人は理解しているとおもいますか。（1つに○）

「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方への理解についてたずねたところ、身体障害、知的障害、精神障害ともに「どちらかといえば、理解している」が最も多く、身体障害 37.6%、知的障害 32.1%、精神障害 31.3%となっている。

「理解している」と「どちらかといえば、理解している」を合わせた《理解している》は、身体障害は 48.8%、知的障害は 43.0%、精神障害は 45.2%となっている。

図表 3-87 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解
(全体)



II アンケート調査の結果

身体障害

地域のつながり感別では、感じる人は《理解している》が59.8%で、『感じない(38.0%)』を21.8ポイント上回っている。

図表 3-88 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解

【身体障害】(全体, つながり感別)

			理 解 し て い る	理 ど ち ら か と い え ば	理 ど ち ら か と い え ば	理 解 し て い ない	分 か ら ない	無 回 答
全 体 (N=617)			11.2	37.6	15.6	5.3	21.1	9.2
つながり 感別	感じる (n=331)		12.7	47.1	13.3	1.8	18.7	6.3
	感じない (n=250)		9.2	28.8	19.2	9.6	24.4	8.8

知的障害

地域のつながり感別では、感じる人は《理解している》が57.3%で、感じない(27.3%)を30.0ポイント上回っている。

図表 3-89 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解

【知的障害】(全体, つながり感別)

			理 解 し て い る	理 ど ち ら か と い え ば	理 ど ち ら か と い え ば	理 解 し て い ない	分 か ら ない	無 回 答
全 体 (N=156)			10.9	32.1	19.9	7.1	23.7	6.4
つながり 感別	感じる (n=82)		14.6	42.7	13.4	6.1	19.5	3.7
	感じない (n=66)		7.6	19.7	30.3	9.1	27.3	6.1

精神障害

地域のつながり感別で見ると、感じる人は《理解している》が56.9%で、感じない人では《理解している》が37.6%と、19.3ポイント上回っている。

図表 3-90 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解

【精神障害】（全体，つながり感別）

		(%)					
		理解している	理解しらかといえ ば	理解しらかといえ ば	理解していない	分からない	無回答
全	体 (N=166)	13.9	31.3	18.7	11.4	20.5	4.2
つながり	感じる (n=65)	20.0	36.9	15.4	9.2	15.4	3.1
感別	感じない (n=101)	9.9	27.7	20.8	12.9	23.8	5.0

8 市への要望（問 29）

「障害のある方の地域生活に関する調査（障害者調査（18歳以上）」において、障害のある人がいきいきとした生活を送ることができる地域社会を実現するための取組などについての意見・要望を自由記述形式でたずねた。以下に主なものを掲載する。

(1) 身体障害者（141件）

①福祉サービスに対する意見・要望（23件）

- ・ヘルプカードのカバン等につける赤いタイプがあります（都でもらいました）。カバンにつけていても交通機関で席をゆずってもらったことは一度もありません。CM、交通機関の「ゆずりあい」の席にヘルプカードのシールを貼って下さい。（身体、女性、40歳代、抜粋）
- ・介護保険制度ではカバーできないようなサービスの充実、例えば病人、障害者の在宅見守りサービスなど。（身体、女性、80歳以上）
- ・聴力障害のため、市からの緊急放送、お知らせ放送が流れる時、音が大きいだけで何を言っているか分からず不安になる。（身体、女性、50歳代）

②環境・まちづくりについて（15件）

- ・信号機に音をつけ、視力障害の方にも分かりやすいような対策をしてほしい。歩道と車道とをガードレールのようなもので仕切り、安全に歩行者が歩けるようにしてほしい（身体、女性、80歳以上）
- ・調布市内の歩道で穴が開いてしまっている道がつまずきやすく、危険に思うことがあるので、駅周辺だけでも歩きやすい歩道にしてほしいです。（身体、男性、20歳代）

③周囲の理解・相互理解（13件）

- ・障害のない普通の体の方々が、それは当たり前でなく幸せなことといつも思ってくれれば、障害者に対して優しくなれるでしょう。（身体、女性、80歳以上）
- ・周囲の方が見守り、声掛けができる状況を障害のある人は心掛け、また周囲にそのような方がいらっしゃらない一般の方は外での出会いがある時は見守り、声掛け、手助けができる人になっているよう、子どもの頃からしつけていくことが大切ではないかと思います。（身体、女性、70歳代）

④施設について（8件）

- ・障害のある人もない人も気軽に立ち寄れるサロンがあるとよいと思う。今駅前を整備している一番目立つ場所につくことで、皆の関心が集まり障害のある人がいると気づく場所になれると思う。（身体、男性、50歳代）

⑤将来・今後への不安（7件）

- ・夫を入院させております。身体障害および認知症もあり、介護する人も高齢。入院中は何とかありますが医療の手が離れた時、自宅では生活が不可能となった人の生活はどうすればよいのか困っています。（身体、男性、70歳代）

⑥交通手段・交通費（7件）

- ・都営住宅3階建ての2階に住んでいます。エレベーターがないため外出がなかなか

大変です。家にとじこもっています（階段に上ったり下がったりが辛い）。（身体、男性、70歳代）

⑦職員・相談窓口への要望（6件）

- ・家族もなくひとりで生計を立て、なるべく健常者と同様の働きをしたいと思っています。障害者雇用枠ですがあまり休みがちにはなりたくないので、相談窓口等、土日にも活用できたらとてもありがたいと思います。（身体、女性、30歳代）

⑧災害時の不安（6件）

- ・災害時に交通機関等に障害が生じた時、避難施設まで行くことができない不安がある。実際交通機関が止まっただけでも大変なことがあった。自分自身以外にも息子、娘に別の種類の障害があり、自分自身が相応の対応をしてもらえたとしても、子ども達に適切な対応ができない。障害者が障害者を看なければならぬ現実にも目を向けていただけると幸いです。（身体、男性、50歳代）

⑨ふれあいの場・地域との交流（6件）

- ・私の場合、障害が心臓で不整脈のためペースメーカーを入れています。同じようにペースメーカーを使っている方たちと話し合えるグループが地域の中であれば良いと思います。（身体、女性、70歳代、抜粋）

⑩地域活動・社会参加（5件）

- ・障害のある人たちも健常者と一緒に地域の運動会等に参加できるムードが必要と思われれます。（身体、男性、60歳代）

⑪運動・リハビリについて（4件）

- ・身体障害者は身体能力の維持向上が健常者以上に欠かせません。スポーツ施設等にかける予算も限りがあると思いますが、できるだけ配慮をお願いします。（身体、男性、40歳代）

⑫経済的支援（4件）

- ・コミュニティーバスの無料など、経済支援。（身体、男性、40歳代）

⑬就労について（3件）

- ・障害といえども仕事をしております。年収を上げてほしいです。（身体、男性、60歳代）

⑭アンケートについて（4件）

- ・字が小さくよくわからないアンケートでした。対面をお願いします。（身体、女性、80歳以上）

⑮勉強したい（2件）

- ・私自身もう少し障害福祉について、いろんなことを知らなければと思います。（身体、女性、年齢不明）

⑯感謝（12件）

- ・病院の先生のアドバイス、家族やご近所の皆さまのご協力を得て毎日過ごしております。ありがとうございます。（身体、女性、60歳代）
- ・いろいろな障害で苦しんでいる方がおります。その人その人の苦しみの立場に立って考えていってほしい。市民の障害福祉に対して考えていただいていることに

感謝しております。(身体, 女性, 70 歳代, 抜粋)

①その他 (16 件)

- ・特に現状の視覚障害の程度ではどのようにすればよいか分かりません。教示してください。(身体, 男性, 70 歳代)
- ・母は現在 93 歳と高齢ですが認知症もなく, 毎月 5 日と 20 日に出る市報の福祉のところをきちんと読んでいます。25 歳の(時の)電車の事故で身障者になりましたが, いつも「身体は身障者だけど心まで身障者にはならない」と口癖のように言っています。本当に立派な母です。(身体, 女性, 80 歳以上)

(2) 知的障害者 (52 件)

①福祉サービスに対する意見・要望 (13 件)

- ・一人ひとりの希望をよく聞き, その人個人のやりたい仕事や生き方などにそうように, 無理だと考えずになるべく希望がかなう方向へ寄り添って, 考えあっていく, きめ細かい援助をしてほしい。(知的, 男性, 30 歳代)
- ・ケースワーカーはもう少し自分の担当地域の障害児(者)の個々を知るべきではないでしょうか。例えば障害者の通所先での様子を見てみるとか。窓口で相談者を待つという受け身では障害児(者)のことは全然分からないと思う。(知的, 男性 40 歳代)

②周囲の理解・相互理解 (9 件)

- ・小さいときから自然に関われるような環境づくりをしてほしいと思います。特別支援学級で小学時代を過ごしましたが交流が多く, 20 歳を過ぎた今でも地域の保護者や同級生が声をかけてくれます。周辺の設備も整っていた方が暮らしやすくなりますが, 本人にとってはそれ以上に周囲の温かい目で安心した生活を送ることができます。知らない人は無意識に視線が冷たくなっていて, 本人は敏感に感じ取ります。(知的, 男性, 20 歳代)
- ・障害に対して社会がもっと理解, 知識を持ってほしい。(知的, 男性, 20 歳代)

③施設について (9 件)

- ・女性のグループホームがほしい。(知的, 女性, 50 歳代)
- ・親が高齢になって来て介護ができづらいので, 一日も早くケアホームができることを切に願います。(知的, 男性, 30 歳代)

④アンケートについて (4 件)

- ・今回の質問が難しすぎて分かりづらい。(知的, 女性, 50 歳代)

⑤環境・まちづくりについて (4 件)

- ・交通機関(駅構内, バス停)などにスロープを付けていただき, 車いすの方や足の不自由な方が楽に通行できるようにしてほしいです。エレベーターのない場所もあるので。(知的, 男性, 60 歳代)

⑥市の職員への希望 (3 件)

- ・市の職員が担当になった障害者の特性について配慮が足りないと感じました。人権意識があれば本人のいる前でできないような質問をされました。とても悲しかったです。(知的, 男性, 40 歳代)

⑦就労について（2件）

- ・本人がその職場で働く、働かないは別として、見学してみたい職場があれば一緒に体験や支援をしてほしい。（知的，女性，30歳代）

⑧将来への不安（2件）

- ・親が介護できなくなったとき、現在通所中の施設に入所したとしても、お正月休みなどの長期のお休み、病気のときの帰宅など兄弟に負担がかかり、仕事を辞めざるを得ないのでは…と心配しております。（知的，男性，20歳代）

⑨その他（6件）

- ・正直申し上げまして普段より福祉のことに关してあまり注意を向けておらず、個人的なところでの関心事はあるのですが、社会における障害者の福祉関係にはとても疎いところがあります。もっと関心をもってきちんとした意見をもたなければいけないと思っております。（知的，男性，60歳代）

(3) 精神障害者（64件）

①就労について（13件）

- ・もっと多種多様な才能に対応できる作業所を増やしてほしいと思います。物づくりにしてもいろんな種類の物づくりの仕事ができてほしいと思います。あと作業所の工賃がもっと上がれば良いと思います。（精神，女性，30歳代）
- ・障害者就労と一般就労を変にきっちり分けず、障害のある人が一般就労でもやれる環境がほしい。（精神，男性，30歳代）

②周囲の理解・相互理解（12件）

- ・身体の障害には理解があり人々が優しいのに対して、精神の障害には理解がなく優しくされないのが差別を感じています。精神障害の理解が広まって差別なく普通にコミュニケーションがとれると生きやすいです。社会に理解を広める活動をお願いします。（精神，女性，40歳代）
- ・全ての人の理解がなければ、いきいきとした生活はできないと思います。（精神，女性，40歳代）

③福祉サービスへの意見・要望（8件）

- ・ヘルプカードも始まって、いち早く取り組んでいるのにありがたさを感じます。もっと広まってほしいです。妊婦さんのマタニティマークくらい分かる人が増えるといいなと思います。（精神，女性，30歳代，抜粋）
- ・情報を文書で知らせてほしい。（精神，女性，60歳代）

④制度・施策について（7件）

- ・障害者を介護する家族が気軽に相談できる窓口やネットワークを充実させてほしい。（精神，男性，50歳代）
- ・障害者を特別扱いしないため、いろいろな施策をしてほしいと思う。障害者でも普通に自己実現をしていく喜びを感じられる地域、社会になってほしいと思う。自助と支援のバランスが大切だと思います。（精神，男性，40歳代）

⑤経済的支援（4件）

- ・収入の格差に関係なく医療費を無料にしてほしい。（精神，女性，40歳代）

- ・障害種別にかかわらず平等に経済的支援をしてほしい（身体、知的はタクシー券配布、割引その他交通の割引があるが、精神はバス以外ないので不公平である）。
（精神、女性、40歳代）

⑥環境・まちづくりについて（3件）

- ・現在外出時は車いすで移動していますが、ひとりで動ける状態の歩道は見当たりません。年老いた母親に常に介助してもらっています。いつまで介助してもらえるかとても不安です。一日も早くひとりで買い物に行けるよう歩道のバリアフリー望みます。（精神、女性、30歳代）

⑦施設について（3件）

- ・お年寄りや障害をもった人がなるべく地域で自立して長く暮らせるようなアパートを残してほしい。（精神、女性、40歳代）

⑧地域活動・社会参加（2件）

- ・精神障害者ですが、もっと日中活動（家の外で）できる場所をつくっていただきたいです。（精神、女性、40歳代）

⑨感謝（2件）

- ・調布は病院や作業所もあり、病気でも住みやすいと初めて思えた町です。市役所の人にも、保健師の方や希望ヶ丘の方にも感謝しています。（精神、女性、30歳代、抜粋）

⑩その他（10件）

- ・病気を5つもかかえているため主治医は精神科なので話は聞いていただけなのですが、具体的にははっきりしません。明確に答えてくださるお医者さんがほしいです。（精神、女性、60歳代）
- ・家族は病気や障害とか理解してくれないし、しようとも思っていない。役所は事務的だし、会社は障害者だと最低の時給です。つらい。生きていけない。（精神、男性、40歳代）